

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2022年 2月 20日

事業所名：児童発達支援 わかば

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・ 体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動中は気が散るものは片付けている。 机、いす等は邪魔にならないように移動させている。	・少し狭い気もしますがあまり広くても目が行き届かなかったり、子どものにもコンパクトな方が逆に遊びやすい気もします。 ・回答頂けた93%が「はい」と答えられ、1名が「どちらともいえない」と答えられている。	現状の取り組みを継続していく。
	2	職員の適切な配置	配置している。 利用者に合わせて、職員を配置している。	回答頂けた93%が「はい」と答えられ、1名が「どちらともいえない」と答えられている。	現状の取り組みを継続していく。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	利用者に応じて、絵カードや写真入りカードにより視覚的な配慮を行ったり個別に説明を実施している。個別療育は集中できるように別部屋で実施することもある。室内やトイレには段差はない。	回答頂けた85%が「はい」と答えられ、2名が「どちらともいえない」と答えられている。	現状の取り組みを継続していく。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃、消毒をしている。 作業机や個別机を設置し各利用者に応じた対応している。 季節に応じたものを制作し壁面に飾っている。	回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	活動室は、物は最低限配置するようにする。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員会議、日々の業務・利用者の情報共有を図り改善点を話し合っている。	/	業務改善に向け振り返る機会を更にもつ
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価はあるが業務改善の為の会議は未実施である	/	第三者評価を活用し業務改善を行う。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	法人内研修も以前に比べて出来ていない、外部研修もコロナの影響で参加しにくい状況である。法人内研修を行う場合、参加できない職員には書面で伝えたり前もって意見を聞いたりしている。	/	現状の取り組みを継続していく。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時、その後は6か月に1回保護者と面談を行いアセスメント、計画の作成をしている	回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	利用児の通所状況に合わせ集団活動、個別活動を行えるように計画していく
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用者に合わせて個別活動、集団活動を組み合わせて計画書を作成している	回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	利用時の通所状況に合わせ個別活動を取り組めるように努める。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	家族や本人のニーズ及びアセスメントにより解決すべき課題や強みを家族と相談し項目を設定し実施できるよう具体的に支援内容を記載	回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	現状の取り組みを継続していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援の目標、具体的支援を確認し共有している	回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	利用児の通所状況に合わせ個別活動を行えるように計画していく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員会議で活動プログラムの立案・役割分担を行っている		現状の取り組みを継続していく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は幼稚園後の利用のご利用者様は利用時間が短くなるため個別療育の時間を取るようになっている。また長期休暇は朝からのご利用が多くなるので、個別療育の時間も取りやすく、長期休暇にあった季節にあった取り組みなどを取り入れている。		現状の取り組みを継続していく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動の内容や季節に合わせた活動など、様々な活動に利用児皆が参加できるように工夫している	回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	現状の取り組みを継続していく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日には支援内容や役割分担の再確認を行っている		現状の取り組みを継続していく
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	職員間での気づきや振り返りを業務日誌にも記載し当日休みの職員も確認できるようにしている		現状の取り組みを継続していく
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	細かな詳細を正確に日誌に記載している		職員会議においても支援の検証や改善の話し合いを積極的に行っていく
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングの実施・見直しをおこなっている		現状の取り組みを継続していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	サービス担当者会議には参画できていないが、相談支援事業所とは連絡を取ったり、コロナの状況によってはわかばに来てもらいお話している。		現状の取り組みを継続していく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	情報共有を行う場合はあるが充分ではない		必要に応じて十分な情報提供を行う幼稚園、小学校、放課後デイサービスに行く前にわかばでの様子をお伝えするようにしたい。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門的な研修は積極的に受講したいが、コロナの影響もあり受講できる機会が減っている。		参加できる研修があれば積極的に参加し、オンライン研修などにも参加したい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流の機会は中々持っていないのが現状	このような機会はあまり無いと思いますが、現在はコロナの事もあるので仕方ないと思います。 回答頂けた78%が「どちらともいえない」と答えられ、1名が「いいえ」と答えられている。	コロナの状況を見て、交流の機会がもてるよう検討する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域に開かれた事業とは言い難い		コロナの状況を見て、交流の機会がもてるよう検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	お会いして説明をおこなっている。丁寧にご説明するよう心掛けている。	回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	現状の取り組みを継続していく
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	お会いして説明をおこなっている。丁寧にご説明するよう心掛けている。	回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	現状の取り組みを継続していく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	コロナの影響もあり、以前やっていた月1回の個別療育が実施できていない。	回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	現状の取り組みを継続していく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に直接お会いしてその日の様子をお話している。情報共有のツールとして連絡ノートも使用している。	毎回わかばでの様子を教えて下さるのが楽しみです。 回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	現状の取り組みを継続していく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や面談時に、対応の仕方や悩みなど相談にお答えしている。また連絡帳でお伝えすることもある。	回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	現状の取り組みを継続していく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	親子体操などイベントを開催し、保護者同士が交流できる場を設けたいが、コロナの影響もあり今年1回は1回ぐらいしか実施できていない。	「いいえ」という意見が半数ぐらいみられた。	感染対策に気を付け、親子で参加するイベントや、情報共有の場を定期的に開催する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合には迅速に適切な対応を行う	回答頂けた64%が「はい」と答えられ、1名が「どちらともいえない」、4名が「わからない」と答えられている。	苦情があった場合には迅速に適切な対応を行う。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	送迎時に直接お会いしてその日の様子をお話している。情報共有のツールとして連絡ノートも使用している。	回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	現状の取り組みを継続していく
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月おたよりを発行している。次の月のカレンダー作りを活動内容に取り入れ、活動内容を確認できるようにしているが作る曜日を固定にしているので作れていないご利用者様もいる。	回答頂けた86%が「はい」と答えられ、1名が「どちらともいえない」、1名が「わからない」と答えられている。	毎月発行している「たより」で次の月の活動内容、行事をお知らせしている。活動でカレンダー作りを行っているが、曜日固定のためその曜日のご利用者様しか作れていない。ご利用者様全員に作れるように配慮する必要がある。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いには注意して対応している	回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	現状の取り組みを継続していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは職員、保護者への周知を行っている。	回答頂けたすべての方が「はい」と答えられている。	現状の取り組みを継続していく
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月に1回避難訓練を実施している。毎月曜日を変えて、利用している子ども皆が参加できるようにしている。	回答頂けた93%が「はい」と答えられ、1名が「どちらともいえない」と答えられている	現状の取り組みを継続していく
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年2回虐待防止研修を実施している。		現状の取り組みを継続していく
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現状で身体拘束を行う利用児はいないが、必要であれば保護者の同意を得る		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーは適切な対応を行っている。		医師の指示が必要な場合は、細かく定期的に提出いただくようにする
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	会議で事例検討を行っている		共有の徹底を行う